



# こぐまぐみだより

2023年度9月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

日中は夏と変わらないような暑い日もありますが、朝晩は涼しい風が吹くようになりました。これから少しずつ過ごしやすくなり、子どもたちの活動の幅も広がってきます。秋ならではの自然物や生き物を見たり聞いたり触ったりしながら楽しく過ごしたいと思います。



## ～みんな大好き！夏遊び～

最初、裸足の感覚が苦手だった子もいましたが、気付けばすっかり慣れ水遊びを楽しんでいました。色水遊びでは、透明なプラカップに入れてジュース屋さんに変身してみたり、色水を混ぜて変化を楽しんだりしました。また、紙パックでつくった魚やカニ、イルカなどの子どもたちのお気に入りであそびました。保護者のみなさま、タオルや着替えのご用意、ありがとうございました。

## パズルブーム、まだまだ続きます！

今までは1人で集中しておこなっていたパズルですが、難しく困っている子を見つけると「一緒にやろうよ」と声をかけたり、隣に座り「ここだよ」と教えてあげたりといったやり取りが増えてきたように思います。また、自然と「ありがとう」「どういたしまして」の言葉の増加、成長を感じています。こぐま組パズルブームは形を変え、まだまだ続きそうです。



## 絵本の紹介

いろいろバス 作：tupera tupera

さまざまな色のバスがやってきて、そこにさまざまなものが降りたり乗ったりするお話です。中でも、最後のページの終点のシーンでは、いままで出てきたバスが全て集まって、乗客が一斉に降りてきます。そのページが子どもたちは大好きで、広げながら「トマトがいた！」「おにさん見つけたよ」と友だち同士で発見を伝え合う様子が見られ楽しんでいます。

## トイレの様子

現在は子どもたち全員がトイレに向かった際に、「座ってみる」と便座に座っています。タイミングが合えばトイレで排尿をすることも増えてきています。そのときには成功した喜びを、子どもと共に分かち合っています。また、パンツにも少しずつ興味や憧れを持ってきているようです。排泄は個人差があります。個々のペースでストレスなく進められるように、引き続き関わっていきたいと思います。